



日本モンゴル文化学会 第二回夏季大会 (2019)

時間:2019年7月20日(土曜日) 9:30~18:00
 場所:大阪市立大学(杉本キャンパス)全学共通教育棟8号館(832室、83A室)
 開会の案内・研究発表規則(靳巍理事) 9:30~9:35
 開会の辞(サランゴワ会長) 9:35~9:40

第1部

司会:T・アルタンバガナ(千葉大学)

T.Саранчимэг(モンゴル国経営マネジメント学院一人材育成・マネジメント学科上級講師・Ph.D)
 (9:40~10:00)

「12、13世紀のモンゴル諸ハンの詔」

池田健雄(千葉大学・特別研究員) (10:00~10:20)
 「蒙疆政権下、内モンゴル学術調査の考察—民族調査を中心に—」

靳巍(大阪市立大学大学院・文学研究科・博士後期課程・都市文化研究センター研究員)
 (10:20~10:40)

「『満洲国』産羊毛の流通及び輸出に関する考察」

オウスチンビリゴ(岐阜大学大学院・連合農学研究科・特別研究員) (10:40~11:00)
 栗屋善雄(岐阜大学流域圏科学研究センター)
 「中国内モンゴルのエジナ河・居延三角州における土地被覆変化の特徴」

○コーヒーブレイク coffee break (11:00~11:10)

司会:靳巍(大阪市立大学)

第2部

Davkharbayar(Pedagogical University of Inner Mongolia) (11:10~11:30)
 「馬の毛色を表す語は、馬に関する語彙の中で最も重要である」

Tugsoo(Inner Mongolia Normal University,China) (11:30~11:50)
 「モンゴル人形のデザインにおける色彩体系の発達方向」

Uudam(中国フルンボイル大学教師・教育学博士) (11:50~12:10)
 O.Khulan(モンゴル国国立大学)
 「BARGA 民俗文化遺産に基づく踊り指導法」

T・アルタンバガナ(千葉大学大学院・人文公共学府・博士後期課程) (12:10~12:30)
 「モンゴル伝統楽器チャールの復興過程—エルテニ氏のライフヒストリーを中心に—」

○ランチタイム Lunch time (12:30~13:30)

第3部

司会: サランゴワ(カイクリエイツ)

包曉蘭(首都大学東京・人文科学研究科・特別研究員) (13:30~13:50)
「モンゴル伝統医療へのグローバリゼーションの影響
—医療機関に勤務するモンゴル医師の語りから—」

LINGLING(千葉大学大学院・医学研究科・博士後期課程) (13:50~14:10)
「高齢者の趣味活動と認知症発症との関連」

第4部

司会: 包曉蘭(首都大学東京)

包嶺小(滋賀県大学大学院・人間文化研究科・博士後期課程) (14:10~14:30)
「内モンゴルにおける生態移民政策が牧畜経営の効率性に及ぼす影響
—内モンゴル赤峰市を事例に—」

青春(名古屋市立大学大学院・人間文化研究科・博士後期課程) (14:30~14:50)
「中国・内モンゴル自治区の草原流動幼児園について
—KHcoder によるインタビュー調査の分析—」

フスレン(名古屋大学大学院・国際言語文化研究科・博士後期課程) (14:50~15:10)
「牧畜社会の『創られた』表象—内モンゴルを題材にする映画作品を事例に—」

○コーヒーブレイク coffee break (15:10~15:20)

第5部

司会: オウスチンビリゴ(岐阜大学)

WUSIQINGAOWA・劉永亮(首都大学東京・人文科学研究科・博士後期課程) (15:20~15:40)
「内モンゴルにおけるモンゴル語を母語とする日本語学習者の作文に見られる誤用例について
—格助詞に関する誤用を中心に—」

テレゲルチチグ(〇〇株式会社) (15:40~16:00)
「婚姻儀礼におけるモンゴル民族衣装—エスニシティと審美観の視点から考察—」

ソルナ(金沢美術工芸大学大学院・美術工芸研究科・博士前期課程) (16:00~16:20)
「空間デザインにおけるモンゴル文化の可能性—ウリゲル博物館を中心として—」

○コーヒーブレイク coffee break (16:20~16:30)

第6部

司会: テレゲルチチグ(〇〇株式会社)

バイスチントヤ(名古屋大学大学院・文学研究科・博士後期課程) (16:30~16:50)
「エジオポー祭祀」

張高娃(神奈川大学大学院・歴史民俗資料学研究科・博士後期課程) (16:50~17:10)
「モンゴル・シャーマニズムの自然信仰と祖先信仰
—中国・内モンゴルホルチン地域を事例として—」

サイン・ホビト(神奈川大学大学院・歴史民俗資料学研究所・博士後期課程)(17:10~17:30)
「モンゴル人の拝火信仰ーホルチン右翼中旗の事例から」

サラングワ(株式会社 カイクリエイツ) (17:30~17:50)
「haralahu 病気とシャマンの治療メカニズムー内モンゴル東部ホルチン地方を事例に一」

司会: 靳巍(大阪市立大学)
(17:50~18:00)

理事長: 総括
閉会の辞(靳巍)

懇親会 Dinner party(羊肉・ボザーなど、予約制) (18:30~20:30)
参加費: 3000 円(学生 2500 円)

場所の案内: 大阪市立大学(杉本キャンパス)全学共通教育棟 8 号館
〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 号

連絡先: 日本モンゴル文化学会メールアドレス mglculture@yahoo.co.jp
懇親会に参加する方は以上のメールアドレスに連絡ください



アクセス:

JR 阪和線「杉本町(大阪市立大学前) 駅」下車、東口すぐ
地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、
4 号出口より南西へ徒歩約 15 分
新大阪から・・・JR もしくは地下鉄御堂筋線、約 1 時間関
西国際空港から・・・JR 関空快速
(堺市駅で各停に乗換)、約 1 時間

モンゴル文化学会発表会会場は 18 号建物

